

社会科(歴史的分野) 9年 年間指導計画

月	単元・題材	学習内容	時間
1	2節 欧米の進出と日本の開国 1 欧米のアジア侵略 2 開国と不平等条約 3 開国後の政治と経済 4 江戸幕府の滅亡	1 欧米とアジアの力関係、アヘン戦争と中国の半植民地化、インドと東南アジアの植民地。 2 ペリーの来航、不平等な通商条約。 3 幕府への批判の高まり、開港の経済的影響。 4 薩摩藩と長州藩の動き、世直しへの期待、大政奉還と王政復古。	5
2 3	3節 明治維新 1 新政府の成立 2 明治維新の三大改革 3 富国強兵と文明開化 4 近代的な国際関係 5 国境と領土の確定 6 領土をめぐる問題の背景 7 自由民権運動の高まり 8 立憲制国家の成立	1 明治維新、藩から県へ、身分制度の廃止。 2 三大改革、学制の公布、徴兵令、地租改正。 3 富国強兵、殖産興業政策、文明開化、新しい思想。 4 ぶつかる二つの国際関係、岩倉使節団、清や朝鮮との関係。 5 南北の国境の確定、北海道の開拓とアイヌの人々、沖縄県の設置と琉球の人々。 6 歴史的に見る島々の領有、あしか狺の舞台・竹島、日本人の生活の舞台・北方領土、かつお節製造の舞台・尖閣諸島。 7 自由民権運動と士族の反乱、高まる自由民権運動、国会の開設をめぐる対立。 8 憲法の準備、憲法の発布、帝国議会の開設。	10
4	第6章 二度の世界大戦と日本 1節 第一次世界大戦と日本 1 第一次世界大戦 2 ロシア革命 3 国際協調の高まり 4 アジアの民族運動	1 ヨーロッパ諸国の対立、第一次世界大戦。 2 ロシア革命、シベリア出兵とソ連の成立、独裁と計画経済。 3 ベルサイユ条約と国際連盟、国際協調の時代、民主主義の拡大。 4 第一次世界大戦と日本、中国の反帝国主義運動、朝鮮の独立運動、インドの民族運動。	6
5	2節 大正デモクラシーの時代 1 大正デモクラシーと政党内閣の成立 2 広がる社会運動と男子普通選挙の実現 3 新しい文化と生活	1 第一次護憲運動、大戦景気と米騒動、本格的な政党内閣の成立、大正デモクラシーの思想。 2 社会運動の広がり、差別からの解放を求めて、女性による運動、男子普通選挙の実現。 3 教育の広がり、メディアの発達と文化の大衆化、新しい思想や文化、都市の生活。	5

5	3節 世界恐慌と日本の中国侵略 1 世界恐慌とブロック経済 2 欧米の情勢とファシズム 3 昭和恐慌と政党内閣の危機 4 満州事変と軍部の台頭 5 日中戦争と戦時体制	1 世界恐慌の始まり、ニューディール、ブロック経済 2 ファシズム、イタリアのファシズム、ドイツのファシズム。 3 政党政治の進展と行きづまり、昭和恐慌、難航する外交。 4 満州事変と日本の国際的な孤立、軍部の発言力の高まり、経済の回復と重化学工業化。 5 日中戦争の開始と長期化、強まる戦時体制、皇民化政策。	7
6	4節 第二次世界大戦と日本 1 第二次世界大戦の始まり 2 太平洋戦争の開始 3 戦時下の人々 4 戦争の終結	1 大戦の開始、戦争の拡大、ドイツの占領政策。 2 日本の南進、日米交渉の決裂、太平洋戦争の始まり 3 国民の動員、植民地と占領地、総力戦と犠牲者。 4 イタリアとドイツの降伏、空襲と沖縄戦、日本の降伏。	6
6	第7章 現代の日本と私たち 1節 戦後日本の出発 1 占領下の日本 2 民主化と日本国憲法	1 敗戦後の日本、国民の苦難、占領の始まりと非軍事化。 2 民主化、日本国憲法の制定、政党政治と社会運動の復活。	4
6	2節 冷戦と日本の発展 1 冷戦の開始と植民地の解放 2 独立の回復と55年体制 3 緊張緩和と日本外交 4 日本の高度経済成長 5 マスメディアと現代の文化	1 国際連合と冷戦の始まり、新中国の成立と朝鮮戦争、植民地支配の終わり。 2 占領政策の転換、平和条約と安保条約、自民党長期政権と安保条約改定。 3 緊張緩和の進展、広がる日本の外交関係、沖縄の日本復帰。 4 高度経済成長、国民生活の変化と公害、経済大国日本。 5 戦後の文化とマスメディア、テレビと高度経済成長期の文化、漫画・アニメと文学の発展。	7
6	3節 新たな時代の日本と世界 1 冷戦後の国際社会 2 冷戦後の日本 3 持続可能な社会に向けて	1 冷戦の終結、国際協調への動き、相次ぐ地域紛争。 2 冷戦後の日本外交、55年体制の終わり、バブル経済崩壊後の経済。 3 進展するグローバル化、日本社会が直面する課題、持続可能な社会。	5